調　査　研　究　活　動　実　績

大石　宗

令和２年度の政務調査費研究に関する主な活動の実施状況を報告いたします。

１．高知版ソサエティー5.0 社会の構築に向けての調査研究

AI や IoT などの第四次産業革命に資する新技術を取り入れた地域課題克服のため、医療・教育・一次産業等の活用が見込まれる現場の調査を行うと共に、都市圏の成長企業の皆さんとの意見交換や高知県への企業誘致活動についての調査を行った。企業誘致に関しては、実際に進出を決定した企業などの事後調査なども行なった。

また、ズームなどのオンラインを通じて、高知県の支援策等を首都圏企業の経営者にアピールすると同時に、意向調査も行なった。

２．学校教育を中心に地域における人材育成についての調査研究

中山間地域で取り組まれている魅力のある学校づくりについて、嶺北高校の取り組みを視察し、調査研究を行なった。

３．高知県の歴史と文化の保存についての調査研究

県史編纂に関する課題の聞き取りや、旧大栃高校に保存している民具の視察など、県内の歴史と文化の保存に関する調査研究を行なった。

4.　一次産業の振興についての調査研究

農業においては、希少な多肉植物の生産に取り組む農家と協働し、産地のブランド化などの取り組みを模索すると共に、市場調査や県外企業との連携などに関する課題等の調査研究を行なった。

水産業においては、カツオマグロ漁について、人材の確保の課題、漁獲制限の課題等についての調査研究を行った。

5. コロナウイルス対策についての調査研究

コロナウイルスの影響について、昨年に引き続き医療・経済・教育という観点から調査研究を行なった。医療においては、医療機関並びに医療従事者への現場課題の聞き取り、経済では特に売り上げなどに影響が大きいと思われる、ホテル、旅館業、また飲食店経営者などの事業者から現状について、また、スーパーマーケットなどの小売店の販売状況や日本酒メーカーの経営状況、更に製造業についても調査を行った。

教育に関しては、今後のオンライン教育推進の現状と課題について、学校関係者並びに保護者より聞き取りを行った。

6. 住民座談会の実施

高知県民の県政に対する意見を聴取するため、各地の集会所並びにオンラインでの県政意見交換会を実施した。

7. 議会情報の発信

コロナ禍においても、正しい情報を迅速に発信すべく、youtube など新たなオンラインの媒体を活用した情報発信を実施した。

８．地域活性化に関する調査研究

三原村・四万十町・大豊町などの中山間地での地域活性化の取り組みを視察し、集落活動センターや移住促進、観光振興などについての調査研究を行った。

９．国際交流に関する調査研究

本県と縁の深い台湾、パプアニューギニアとの文化経済交流、ミクロネシア連邦との文化経済交流、合わせて本県が事務局を務める太平洋島嶼国・日本自治体ネットワークに関する調査研究を行った。

以上